

第 28 回日本内視鏡外科学会総会（28th JSES）のご案内

第 28 回日本内視鏡外科学会総会を以下の通り開催いたします。会員の皆様には多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

第 28 回日本内視鏡外科学会総会
会長 松田 公志

会 期：2015 年 12 月 10 日（木）～12 日（土）
（10 日朝からプログラム開始を予定）

会 場：大阪国際会議場
〒 530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51
リーガロイヤルホテル大阪
〒 530-0005 大阪市北区中之島 5-3-68

会 長：松田 公志（関西医科大学腎泌尿器外科学 教授）
プログラム委員会委員長：権 雅憲（関西医科大学外科学講座 教授）

総会テーマ：「技術革新と人の技の融合：内視鏡手術の飛躍に向けて」
“Merge Technological Innovation and Surgeons' Art”

演題募集期間：2015 年 4 月 28 日（火）～6 月 16 日（火）

応募資格：筆頭著者及び共著者は全て会員に限ります。
まだ入会されていない方は、演題申込前に入会手続きを行ってください。
入会については下記ページをご確認ください。
<http://www.jses.or.jp/about/guide.html>

プログラム詳細：

1. 28 th JSES では、特別講演、シンポジウム、ワークショップ、ディベートなどを組み合わせて、一つのテーマを深く掘り下げるための特別企画を構成します。

特別企画

< 医工連携：内視鏡手術の技術革新のために >

名誉理事長講演「内視鏡手術と医工連携（仮題）」

特別講演「新しい医療機器の開発とイノベーション教育」

シンポジウム「内視鏡外科における医工連携：日本の未来のために」

<技術革新がもたらす内視鏡手術の進歩>

シンポジウム「腹腔鏡手術におけるイメージナビゲーションの現状と展望」

シンポジウム「蛍光ナビゲーションを用いた内視鏡手術の現状と展望」

ワークショップ「Emerging technology 2D, 3D, 360 度視野：手術最適視野は？」

<手術支援ロボットによる内視鏡手術の革新的進歩>

シンポジウム「ダビンチに続く手術支援ロボットの開発：世界とわが国の現状と展望」

シンポジウム「ロボット支援手術の新適応：各領域での現状と展望」

ディベート「消化管外科にロボットは必要か」

<Reduced port surgery と単孔式手術の将来展望>

ワークショップ「単孔式手術から Reduced port surgery へ：Needle scopic surgery との融合は必然か」

ディベート「単孔式手術か Needle scopic surgery か：低侵襲内視鏡手術の王道は？」

<内視鏡外科のエビデンス構築>

シンポジウム「内視鏡外科におけるエビデンスの構築：ビッグデータベースと多施設共同比較試験」

ディベート「内視鏡外科のエビデンス：ビッグデータか RCT か」

<高齢者時代の内視鏡手術>

特別講演「低侵襲手術にも耐えられない高齢者をいかに見つけるか（仮題）」

シンポジウム「高齢者に対する内視鏡手術のリスク評価」

<内視鏡外科の技の伝達>

特別講演「内視鏡外科におけるキャダバートレーニングの現状と将来展望（仮題）」

シンポジウム「シミュレーショントレーニングの現状と展望」

ワークショップ「内視鏡外科のこれからの教育：工夫を持ち寄って最善を探る」

ワークショップ「出血に対するベストの対処法：私はこうしている」

パネルディスカッション「内視鏡手術の技術分析：科学的な指導のために」

技術認定特別企画

<技術認定取得に向けて>

特別講演「専門医制度と内視鏡外科技術認定制度」

シンポジウム「技術認定に合格するために求められる技」

ディベート「技術認定取得に認定施設でのトレーニングは必要か」

パネルディスカッション「私たちはこうして技術認定取得者を育てている」

2. 28 th JSES では、内視鏡手術の技術習得のために、「外科医の技 特別企画」として、シリーズを構成します。

外科医の技 特別企画

<エキスパートビデオシリーズ 1～18>

エキスパートビデオセッション：各領域・臓器の内視鏡手術を、その道のエキスパートが、1 手術 1 時間の無編集ビデオで詳細に示す特別企画

<ピットフォールとその対策シリーズ 1～11>

ワークショップ：各領域・臓器の内視鏡手術のピットフォールとその対策をエキスパートが自らの経験に基づいて示す

< ロボット支援手術：術式の標準化シリーズ 1～5 >

ワークショップ：今取り組まれつつある各領域のロボット支援手術を安全に導入するために術式の標準化を議論する

< 手術機器の使い方シリーズ 1～3 >

ワークショップ：LCS, シーリングデバイス, ソフト凝固など, 止血器具の使い方をエキスパートが示す

< 内視鏡画像から知る骨盤内解剖シリーズ 1, 2 >

ワークショップ：異なった領域の内視鏡外科医が精緻な内視鏡画像から骨盤内解剖を膜と神経血管に分けて明確に示す

医工連携に関心のある企業や工学部の方々が集まり、医工連携セッションを開催するとともに、ブースを開設してシーズを展示します。内視鏡外科の発展に役立つ革新的技術が発表・展示されますので、内視鏡外科の先生方もぜひご参加ください。

日程：12月10日（木）、12日（土）

会場：大阪国際会議場 3階 展示会場内 医工連携出合いの広場

3. 予定しているシンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション、ディベートの詳細を下記に記します（1. 2. で掲載した企画も再掲します）。【公募】、【公募・一部指定】のセッションでは、演者を公募しますので多数の応募をお願いします。

《領域横断的》

シンポジウム：

- | | |
|---|-----------|
| 「内視鏡外科における医工連携：日本の未来のために」 | 【指定】 |
| 「腹腔鏡／ロボット支援手術におけるイメージナビゲーション」 | 【公募・一部指定】 |
| 「蛍光ナビゲーションを用いた内視鏡手術の現状と展望」 | 【公募・一部指定】 |
| 「内視鏡外科におけるエビデンスの構築：ビッグデータベースと多施設共同比較試験」 | 【指定】 |
| 「高齢者に対する内視鏡手術のリスク評価」 | 【指定】 |
| 「ダビンチに続く手術支援ロボットの開発；世界とわが国の現状と展望」 | 【指定】 |
| 「ロボット支援手術の新適応：各領域での現状と展望」 | 【指定】 |
| 「ロボット支援手術保険適用へのロードマップ」 | 【指定】 |
| 「内視鏡手術のシミュレーショントレーニング：最近の展開とその効用」 | 【公募・一部指定】 |
| 「技術認定に合格するために求められる技：各臓器審査委員長から」 | 【指定】 |
| 「医療事故調査制度は現場の医療を守るか？」 | 【指定】 |
| 「内視鏡外科／ロボット支援手術における安全管理：メディカルスタッフを含む合同シンポジウム」 | 【公募・一部指定】 |

ワークショップ：

「Emerging technology 2 D, 3 D, 360 度視野：手術最適視野は？」	【指定】
「単孔式手術から Reduced port surgery へ：Needle scopic surgery との融合は必然か」	【指定】
「腹腔内視鏡治療と腹腔鏡手術のコラボレーションをいかに行うか？」	【公募・一部指定】
「膨潤腹腔鏡手術の手技と利点」	【公募・一部指定】
「内視鏡外科のこれからの教育：工夫を持ち寄って最善を探る」	【公募・一部指定】
「内視鏡画像から知る骨盤内解剖：①膜」	【公募・一部指定】
「内視鏡画像から知る骨盤内解剖：②血管神経」	【公募・一部指定】
「出血に対するベストの対処法：私はこうしている」	【指定】
「誰も教えてくれない手術機器のうまい使い方：① LCS」	【公募・一部指定】
「誰も教えてくれない手術機器のうまい使い方：②シーリングデバイス」	【公募・一部指定】
「誰も教えてくれない手術機器のうまい使い方：③ソフト凝固」	【公募】
「実臓器の部分切除術の要点：腎・肝・膵領域から」	【公募・一部指定】

ディベート：

「内視鏡外科のエビデンス：ビッグデータか RCT か」	【指定】
「単孔式手術か Needle scopic surgery か：低侵襲内視鏡手術の王道は？」	【指定】
「ロボット支援手術は保険適用とすべきか」	【指定】
「大腸外科にロボットは必要か」	【指定】
「技術認定取得に認定施設でのトレーニングは必要か」	【指定】
「Co axis か Off axis か？」	【指定】
「尿管管遺残摘除術は臍部からか側腹部からか」	【指定】

パネルディスカッション：

「内視鏡手術における ERAS の効用」	【公募・一部指定】
「内視鏡手術の技術分析：科学的な指導のために」	【公募・一部指定】
「実臓器モデルの内視鏡手術への活用」	【公募】
「われわれはこうして技術認定取得者を育てている」	【公募・一部指定】
「医療経済を考慮した内視鏡外科手術の要点：各施設での工夫」	【公募・一部指定】
「腹腔鏡／ロボット支援手術における骨盤内リンパ節郭清術の要点」	【公募・一部指定】
「骨盤臓器脱に対する腹腔鏡手術：適応と成績」	【指定】

《食道》

シンポジウム：

「食道癌への内視鏡外科手術を評価する：低侵襲性と長期成績」	【公募】
「縦隔解剖の理解と食道癌手術への feedback」	【公募】

ワークショップ：

「内視鏡下食道手術のピットフォールとその対策」	【公募】
「食道良性疾患に対する内視鏡外科手術の手技と治療成績」	【公募】

ディベート：

「食道がんに対する内視鏡外科手術：仰臥位 vs 腹臥位」	【指定】
------------------------------	------

パネルディスカッション：

「食道再建：腹腔鏡下胃管作成の工夫」	【公募】
--------------------	------

《胃》

シンポジウム：

- 「腹腔鏡下胃全摘後の再建：安全性を飛躍させるために」【指定】
- 「手術支援ロボットがもたらす新たな胃癌手術」【指定】
- 「食道胃接合部癌に対する内視鏡外科手術：精密なリンパ節郭清そして安全かつ後遺症が少ない再建」【指定】

ワークショップ：

- 「腹腔鏡下胃全摘のピットフォールとその対策」【指定】
- 「ロボット支援胃癌手術における術式の標準化：安全な導入に向けて」【指定】
- 「胃粘膜下腫瘍に対する臓器温存低侵襲外科治療」【指定】
- 「胃癌に対する Reduced Port Surgery」【指定】

ディベート：

- 「腹腔鏡下噴門側胃切除後の再建：ベストな再建方法はどれか」【指定】
- 「胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡外科手術：ベストなアプローチはどれか」【指定】
- 「腹腔鏡下胃癌リンパ節郭清におけるアプローチ方法」【指定】

パネルディスカッション：

- 「上部進行胃癌に対する腹腔鏡下手術：解剖とエビデンスに基づいたリンパ節郭清」【公募】
- 「腹腔鏡下幽門保存胃切除：究極の機能温存手術への飛躍」【公募】
- 「腹腔鏡下噴門側胃切除後の再建：革新を目指して」【公募】
- 「腹腔鏡下胃切除：視野展開の工夫」【公募】

《大腸》

シンポジウム：

- 「進行大腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績」【公募】
- 「大腸癌の reduced port surgery」【公募・一部指定】
- 「肛門管周囲外科解剖にもとづく下部直腸癌手術（ビデオシンポジウム）」【公募・一部指定】

ワークショップ：

- 「ロボット補助大腸手術の標準化：安全な導入に向けて」【公募・一部指定】
- 「腹腔鏡下マイルズ手術：ランドマークを明らかにする 腹腔側からどこまで攻める」【公募】
- 「腹腔鏡下側方郭清のピットフォールとその対策」【公募・一部指定】
- 「大腸全摘・回腸肛門吻合術における内視鏡手術：更なる質の改善へ」【公募・一部指定】

ディベート：

- 「腹腔鏡下低位前方切除術における縫合不全予防策 ストミー vs 肛門管ドレーン」【指定】
- 「大腸癌に対する単孔式 vs RPS」【指定】
- 「進行直腸癌に対する側方郭清 OPEN vs LAP」【指定】
- 「肛門近傍直腸癌に対する肛門温存手術 OPEN vs LAP」【指定】

パネルディスカッション：

- 「癒着性腸閉塞に腹腔鏡手術は有用か？」【公募】
- 「横行結腸癌に対する手技の定型化は可能か？」【公募・一部指定】
- 「大腸炎穿孔に対する腹腔鏡手術」【公募】

《胆嚢》

シンポジウム：

「胆嚢癌，胆道癌に対する腹腔鏡手術：適応と成績」

【公募】

ワークショップ：

「腹腔鏡下総胆管結石手術のピットフォールとその対策」

【公募・一部指定】

パネルディスカッション：

「急性胆嚢炎の腹腔鏡下胆嚢摘出術」

【公募・一部指定】

「単孔式胆嚢摘出術の適応基準」

【公募】

《肝臓》

シンポジウム：

「腹腔鏡下肝切除術：肝硬変症例への適応拡大」

【公募・一部指定】

「肝臓移植における内視鏡手術の適応とその役割」

【公募・一部指定】

ワークショップ：

「肝頭側腫瘍（S 7, S 8）に対する腹腔鏡下肝切除術における工夫」

【指定】

「腹腔鏡下肝切除術における止血法の工夫：最適な方法を求めて」

【公募・一部指定】

「腹腔鏡下肝切除手術のピットフォールとその対策」

【公募・一部指定】

ディベート：

「肝頭側腫瘍（S 7, S 8）に対するアプローチ：腹腔鏡下肝部分切除術 vs 開腹肝切除術」

【指定】

パネルディスカッション：

「腹腔鏡下肝部分切除術を究める」

【公募・一部指定】

「腹腔鏡下肝切除術に用いるエネルギーデバイスの工夫」

【公募・一部指定】

《脾臓》

シンポジウム：

「腹腔鏡下脾切除術：安全な術式の定型化を目指して」

【公募・一部指定】

ワークショップ：

「腹腔鏡手術における安全確実な脾消化管吻合術：完全腹腔鏡から小開腹まで」

【公募・一部指定】

「腹腔鏡下脾切除術のピットフォールとその対策」

【公募・一部指定】

「腹腔鏡下脾臓摘出術のピットフォールとその対策」

【公募】

《小児》

シンポジウム：

「小児内視鏡外科の先駆者に聞く「どうやって技術を取得したか」」

【指定】

ワークショップ：

「腹腔鏡下鎖肛根治術のピットフォールとその対策」

【指定】

「小児外科領域における simulator.lab の現状と役割」

【指定】

ディベート：

「先天性横隔膜疾患に対する治療：胸腔鏡 vs 腹腔鏡」

【指定】

パネルディスカッション：

「小児腹腔鏡下虫垂切除術の標準術式は」

【公募】

「小児内視鏡外科手術における合併症の検討」

【公募・一部指定】

「乳児における胸腔鏡下肺切除術：私の工夫」

【公募】

《肥満》

シンポジウム：

「肥満・糖尿病治療の飛躍に向けて：内科・外科医の技の癒合」

【指定】

ワークショップ：

「減量手術のピットフォールとその対策」

【指定】

「Bariatric and Metabolic Surgery の現状」

【指定】

ディベート：

「日本で減量手術は普及するか」

【指定】

パネルディスカッション：

「腹腔鏡下スリーブ状胃切除術：各施設の手技と工夫」

【公募・一部指定】

《ヘルニア》

シンポジウム：

「腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の標準化を目指して」

【公募】

「腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア手術の標準化を目指して」

【公募】

ワークショップ：

「鼠径ヘルニアに対する Reduced Port Surgery」

【公募】

パネルディスカッション：

「腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術：困難症例への挑戦」

【公募】

《産婦人科》

シンポジウム：

「子宮頸癌に対する腹腔鏡手術の導入」

【指定】

「腹腔鏡手術の教育とトレーニング法」

【指定】

ワークショップ：

「婦人科ロボット支援手術における術式の標準化：安全な導入に向けて」

【指定】

「腹腔鏡下骨盤内リンパ節郭清のピットフォールとその対策」

【指定】

ディベート：

「腹腔鏡下子宮全摘術において尿管分離同定は必要か」

【指定】

「腹腔鏡下子宮筋腫核出術における筋腫核の安全な回収法：

経膣回収 vs 臍部より回収 vs モルセレーター」

【指定】

パネルディスカッション：

「重症子宮内膜症に対する腹腔鏡手術」

【指定】

《泌尿器科》

シンポジウム：

「ロボット支援前立腺全摘除術後の尿禁制」

【指定】

ワークショップ：

- 「ロボット支援前立腺全摘除術のピットフォールとその対策」【指定】
- 「ロボット支援腎部分切除手術における術式の標準化：安全な導入に向けて」【指定】
- 「ロボット支援前立腺全摘除術における膀胱頸部処理：最善の指導方法を考える」【指定】
- 「ロボット支援／腹腔鏡下膀胱全摘除術における問題点と対策」【指定】

ディベート：

- 「小径腎細胞がんの治療戦略：凍結療法 vs 部分切除」【指定】
- 「ロボット支援／腹腔鏡下膀胱全摘除術の尿路変向：腔外 vs 腔内」【指定】

パネルディスカッション：

- 「腎・副腎に対する単孔式腹腔鏡手術」【指定】

《呼吸器》

シンポジウム：

- 「肺癌に対する完全胸腔鏡下肺葉切除術の遠隔成績」【公募・一部指定】
- 「完全胸腔鏡下肺葉切除術の教育システム：現状と将来」【公募・一部指定】

ワークショップ：

- 「完全内視鏡下胸腔鏡手術による肺区域切除のピットフォールとその対策」【公募・一部指定】

パネルディスカッション：

- 「胸腺腫瘍に対するロボティック手術の適応と将来」【公募・一部指定】
- 「単孔式胸腔鏡手術の適応と限界」【公募】

《整形外科・内分泌》

シンポジウム：

- 「内視鏡下脊椎手術の水中手術と空中手術の功罪」【公募】

ワークショップ：

- 「内視鏡下甲状腺・副甲状腺手術の到達法はどのアプローチがベストか」【公募】

4. 要望演題

昨年に引き続き、本年も以下の演題を募集します。

- ・研修医・専修医による腹腔鏡下胆嚢摘除術ビデオ（15分）【公募】
- ・研修医・専修医によるリンパ節郭清術ビデオ（15分）【公募】
- ・内視鏡外科／ロボット支援手術におけるメディカルスタッフの役割：各施設での工夫と成果【公募】

5. 一般演題

詳細は後日、総会 WEB site に公開します。

募集期間は 2015 年 4 月 28 日（火）～6 月 16 日（火）となります。

問合せ先：第 28 回日本内視鏡外科学会総会 大会事務局

事務局長：木下 秀文

〒 573-1010 大阪府枚方市新町 2-5-1

関西医科大学腎泌尿器外科学講座

Tel：072-804-0101 Fax：072-804-2068

第 28 回日本内視鏡外科学会総会 運営事務局

〒 541-0047 大阪市中央区淡路町 3-6-13 株式会社コングレ内

Tel：06-6229-2555 Fax：06-6229-2556 E-mail：jses2015@congre.co.jp